

新型コロナウイルス感染症のモニタリング状況

【集計期間（陽性報告日）】

前週： 令和4年第38週 令和4年9月19日(月) ～ 令和4年9月25日(日)

今週： 令和4年第39週 令和4年9月26日(月) ～ 令和4年10月2日(日)

項目		前週	今週	前週比	これまでの最大値		
感染の状況	① 陽性者数	① 総数	4,570人	3,693人	↓	22,063人	令和4年第30週
		医療機関報告分 ^{※1}	4,570人	3,198人	↓		
		セルフテスト陽性 ^{※2}	-	495人	-		
	② 対人口10万人（総数）	296.8人	239.8人	↓	1,433人	令和4年第30週	
	③ 前週との増加比（総数）	0.70	0.81	↑	18.0	令和4年第1週	
④ 陽性率 ^{※3}		51.3%	40.2%	↓	64.3%	令和4年第30週	
医療提供体制	⑤ 入院患者（陽性確定例）	入院中の患者数 ^{※4}	105人	99人	↓	368人	令和4年第31週
		（病床使用率）	21.6%	20.4%	↓	93.9%	令和3年第33週
		（確保病床数）	485床	485床			
	⑥ 重症患者（陽性確定例）	入院中の患者数 ^{※4}	4人	3人	↓	68人	令和3年第34週
		（病床使用率）	5.8%	4.3%	↓	146.7%	令和3年第33週
		（確保病床数）	69床	69床			

- ※1 市内医療機関等から新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム（HER-SYS）により報告があった1週間の陽性者数の合計
- ※2 自己検査で陽性となり、その旨を神奈川県に連絡・申請し、登録された方の1週間の合計（神奈川県記者発表資料の件数を基に集計）
- ※3 陽性率を算出するための検査件数は、川崎市健康安全研究所による検査件数と市内医療機関から直近の日曜日までに新型コロナウイルス感染症医療機関等情報支援システム（G-MIS）により報告があった検査件数（速報値）の合算を用いております。
- ※4 直近の日曜日の報告数

<モニタリング項目の見直しについて>

令和4年9月26日に全国一律で発生届出対象の見直しが行われたため、モニタリング項目を再検討し、令和4年10月4日公表分からは「陽性者数」、「陽性率」、「入院患者」、「重症患者」に係る項目のみ掲載することといたしました。

<変異ウイルス検出状況>

ゲノム解析結果（川崎市健康安全研究所、国立感染症研究所、民間検査機関の解析結果を掲載）

	前週	直近1週間	累計
	R4.9/19 ~ R4.9/25	R4.9/26 ~ R4.10/2	R3.3/11 ~ R4.10/2
α 株（アルファ）	0件	0件	203件
β 株（ベータ）	0件	0件	0件
γ 株（ガンマ）	0件	0件	0件
δ 株（デルタ）	0件	0件	626件
o 株（オミクロン）：BA.1系統	0件	0件	581件
o 株（オミクロン）：BA.2系統	0件	0件	470件
o 株（オミクロン）：BA.4系統	0件	0件	5件
o 株（オミクロン）：BA.5系統	15件	15件	347件

※ここで記載している変異ウイルスの検出件数は、ゲノム解析によって確定された数です。

<評価>

第 39 週（令和 4 年 9 月 26 日～10 月 2 日）

令和 4 年 9 月 26 日に全国一律で発生届出対象の見直しが行われたため、モニタリング項目も再検討を行い、令和 4 年 10 月 4 日公表分（第 39 週）からは、陽性者数は HER-SYS による医療機関等からの届け出分と、自己検査によって各自から届けられた自己検査陽性者分、およびその合計数としました。第 38 週までとは連続性がなくなりますが、これにより今後の流行状況の動きの概要を見ることがになります。入院中の患者数・重症者数については変更がありませんので、その傾向は連続して見ることができます。

<感染の状況：直近 1 週間>

- ① 新規陽性者数は、第 39 週（今週）は、医療機関等からの報告は 3,198 人、セルフテスト陽性者は 495 人、総数は 3,693 名となっています。第 38 週（前週）はこれまでの全数報告によるものですが、4,570 名で、これに比較すれば今週は減少となっています。これまでの最大値は本年第 30 週（第 7 波）の 22,063 人です。
- ② 対人口 10 万人あたりの新規陽性者数は、第 39 週（今週）の総数をもとにすると 239.8 人となっています。第 38 週（前週）はこれまでの全数報告によるものですが、296.8 人なので、これに比較すれば今週は減少となっています。これまでの最大値は本年第 30 週（第 7 波）の 1,433 人です。
- ③ 前週との増加比は、これまでの全数報告をもとにすれば第 31 週 0.83 から第 38 週（前週）まで 8 週連続して 1.0 を下回っていました。第 39 週（今週）は、これまでの全数報告の第 38 週（前週）と比較すれば 0.81 と数値は若干の上昇となりますが、1.0 は下回っています。これまでの最大値は本年第 1 週（第 6 波）の 18.0 です。
- ④ 検査陽性率は、第 30 週からおおむね 60%前後で推移し、第 35 週から第 38 週（前週）までは 50%前後、第 39 週（今週）は、40.2%でした。これまでの最大値は本年第 30 週（第 7 波）の 64.3%でした。

<医療提供体制等の負荷：報告日 10 月 2 日現在>

- ⑤ 入院中の患者数は、令和 4 年第 1 週 23 人から毎週増加、第 7 週 335 人をピークとして第 24 週 24 人まで減少しました（第 6 波）。第 25 週 41 人から毎週増加し、第 31 週 368 人をピークとしてその後減少、第 38 週（前週）105 人、第 39 週（今週）99 人と、8 週連続して減少しています。これまでの最大値は本年第 31 週（第 7 波）の 368 人でした。

確保病床数は現在合計 485 床となっています。入院病床使用率は、令和 4 年第 1 週 4.8%から急増し、第 7 週 70.2%をピークとして第 24 週 4.9%まで減少しました。第 25 週から毎週増加し、第 31 週（第 7 波）75.9%をピークとして減少が続き、第 38 週（前週）21.6%、第 39 週（今週）20.4%と 9 週連続して減少しています。これまでの最大値は令和 3 年第 33 週（第 5 波）の 93.9%です。

- ⑥ 重症入院患者数は、令和 4 年に入った第 1 週は 0 人でしたが、第 2 週 1 人から第 8 週 30 人まで増加し、第 6 波のピークとなりました。その後減少が続き、第 21 週から第 25 週は重症入院患者 0 人が 5 週連続しました。しかし、第 26 週から増加が続き、第 32 週（第 7 波）14 人となりました。第 33 週からは毎週減少し、第 38 週（前週）は 4 人、第 39 週（今週）は 3 人となりました。これまでの最大値は、令和 3 年第 34 週（第 5 波）の 68 人でした。

重症者の確保病床は現在 69 床となっています。重症病床使用率は、本年第 3 週 4.3%から増加が続き、第 8 週の 43.5%が第 6 波のピークとなり第 9 週 2.9%まで減少が続き、第 21 週から第 25 週は重症入院患者数 0 人のため重症病床使用率も 5 週連続して 0.0% となっていました。しかし第 26 週 2.9%から増加が続き、第 32 週の 20.3%を第 7 波のピークとして減少し、第 38 週（前週）は 5.8%、第 39 週（今週）は 4.3%となっています。これまでの最大値は令和 3 年第 33 週（第 5 波）の 146.7%です。

<変異ウイルス検出状況>

ウイルス株については、現在本市においてはオミクロン株のみの検出となっています。第 39（今週）は、オミクロン株 15 件中 BA.5 が 15 件となっています。

本市のみならず、全国的に新規陽性者数は減少傾向が続いており、入院患者数、重症患者数も減少が続いています。それに伴って通常の生活が戻りつつあることはとても良いことですが、今の生活の状況を維持し、さらに良い方向に向けていくためには、お一人お一人が基本的な感染症の予防に気を付けていただくことは大変重要です。

基本的な注意点というのは、繰り返しになりますが、できるだけ三密を避ける、適切な距離が保てないなどの時は不織布マスクを正しくつける、閉鎖空間では換気に気をつける、手洗い・手指の消毒をこまめにするなどで、このことは新型コロナウイルスに限らず感染症にならない、感染症を広げないための大切な注意点です。一方、もし発熱等の症状がみられた場合には無理せず体を休め、受診あるいは自宅での抗原検査利用などしていただければと思います。高熱が続く、息苦しさを感ずる、もともとの持病が悪化傾向にある場合などは、早めの受診が必要ですので、かかりつけの先生あるいは保健所などへご相談ください。

検査、受診などに関しては、川崎市ホームページ (<https://www.city.kawasaki.jp/350/page/0000116178.html>) などにも案内が掲載されています。

ワクチンについて、本市においてはオミクロン株対応ワクチンの接種が始まりました。まだ一度に希望される方すべてに行きわたるわけではありませんが、接種会場・医療機関などに順次配布が続けられています。接種対象となっている方におかれましては早めに受けていただき、免疫を強固なものにしておくことを強くお勧めします。様々な事情でワクチン接種ができない方におかれましては、感染予防に関する注意は強めにして下さいますよう、よろしくお願いいたします。